

- 問1 日本の国土面積は約38万平方キロメートルですが、その地形的特徴をまとめた統計において、山地と丘陵地が占める割合として最も適切なものはどれですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 約4分の1                      2. 約4分の3                      3. 約10分の9                      4. 約2分の1
- 問2 自然災害による被害が予想される区域や、避難場所・避難経路などの情報を地図上にまとめ、住民の防災意識を高めたり迅速な避難を促したりするために作成される資料を何といいますか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. ハザードマップ                      2. 地形図                      3. 都市計画図                      4. 観光地図
- 問3 日本の各地で見られる気候の特色について述べた文として、和歌山県新宮市のような太平洋側の気候と、島根県出雲市のような日本海側の気候の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 夏から秋にかけて台風や梅雨の影響で降水量が非常に多い地域 - 冬に北西の季節風の影響で雪や雨の降水量が多くなる地域                      2. 冬に北西の季節風の影響で雪が多く降る地域 - 1年を通じて降水量の変化が少なく安定している地域                      3. 年間を通じて降水量が極めて少なく温暖な地域 - 夏に南東の季節風の影響で降水量が集中する地域                      4. 夏と冬の気温差が激しく年間降水量が少ない地域 - 冬に乾燥した晴天の日が続く地域
- 問4 岩手県や宮城県の東側に位置する三陸海岸の沖合は、世界的な漁場として知られています。この海域が豊かな漁場となっている理由を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 大陸沿いに南下するリマン海流が、リアス海岸の入り江に豊富なプランクトンを運び込み、魚の産卵を促しているため。                      2. 日本海側を北上する対馬海流が津軽海峡を抜けて太平洋側に流れ込み、周辺海域の酸素濃度を急激に上昇させているため。                      3. 千島海流（親潮）が運ぶ豊富な砂土が三陸沖に堆積し、広大な大陸棚を形成することで、底引き網漁が容易になっているため。                      4. 北から南下する冷たい千島海流（親潮）と、南から北上する温かい日本海流（黒潮）がぶつかり、暖流・寒流双方の魚が集まるため。
- 問5 日本の大部分を占める気候帯と、北海道が属する気候帯の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 日本の大部分：温帯、北海道：乾燥帯                      2. 日本の大部分：温帯、北海道：冷帯（亜寒帯）                      3. 日本の大部分：熱帯、北海道：温帯                      4. 日本の大部分：乾燥帯、北海道：冷帯（亜寒帯）
- 問6 冬の日本において、北西からの季節風が山脈を越えることで太平洋側に晴天をもたらす仕組みについて正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 湿った季節風が山脈を越える際に日本海側に雪を降らせ、水分を失って乾燥した状態で太平洋側に吹き下ろすため。                      2. シベリアからの季節風が梅雨前線を押し戻し、太平洋側の地域に一時的な乾燥した高気圧をもたらすため。                      3. 偏西風が山脈に遮られることで太平洋側の風が弱まり、地表の水分が蒸発しやすくなるため。                      4. 暖かく湿った季節風が太平洋側で上昇気流となり、雲を消散させながら乾いた空気を送り込むため。
- 問7 日本の多くの都市で見られる「ヒートアイランド現象」の発生要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 大規模な森林伐採により、植物の蒸散作用による気温低下の効果が失われたため                      2. ビルや道路の増加により熱が蓄積されやすくなり、冷房や車からの排熱が滞留するため                      3. 砂漠から飛来する乾燥した砂が都市部を覆い、太陽光の反射率が上昇したため                      4. 海流の変化により、沿岸部から都市部へ暖かい海水が流れ込むようになったため
- 問8 東日本の太平洋沖では、北から流れてくる親潮と、南から流れてくる黒潮がぶつかり合っています。この海域が「好漁場」となっている理由を説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 大陸棚が広がり、太陽の光が海底まで届くことで、大規模な養殖業が営まれているため。                      2. 潮目（潮境）と呼ばれ、寒流と暖流が混ざり合うことでプランクトンが発生し、多くの魚が集まるため。                      3. リアス海岸の影響で波が静かになり、遠洋漁業から帰った船が魚を運び込みやすいため。                      4. 深層水が湧き上がることで海水温が一定に保たれ、熱帯性の珍しい魚が常に生息しているため。
- 問9 北海道にある洞爺湖は、火山活動によってできた大規模なくぼ地に水がたまって形成された湖です。このような地形の名称と、日本における他の代表的な例の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 扇状地 — 甲府盆地                      2. 三角州 — 太田川河口                      3. リアス海岸 — 三陸海岸                      4. カルデラ — 阿蘇山
- 問10 日本の気候において、冬に日本海側の地域で雪が多く降る要因を、海流と季節風の性質から説明したものとして最も適切なものを選択してください。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 北から南下する親潮と、南から北上する対馬海流が日本海でぶつかり、その衝撃で海面から大量の雪が舞い上がるため。                      2. 大陸から吹く冷たく乾燥した季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に水蒸気を蓄え、雲が発達するため。                      3. 太平洋側から吹く湿った季節風が、暖流である黒潮の影響で上昇気流となり、奥羽山脈を越えて雪を降らせるため。                      4. 大陸から吹く冷たく乾燥した季節風が、寒流であるリマン海流によって急激に冷やされ、空気中の水分が凍るため。
- 問11 日本の地形において「カルデラ」と説明される地形が形成される仕組みとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
1. 火山の爆発や噴火によって、山体の一部が陥没したり崩壊したりして形成された。                      2. 河川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、低くて平らな土地が形成された。                      3. 河川が山地から平地に出る谷口において、土砂が扇形に堆積して形成された。                      4. 火山灰が長年にわたって厚く降り積もり、水はけの良い台地として形成された。
- 問12 冬の日本海側で世界的に見ても非常に多くの降雪が観測される理由について、日本海を流れる海流の性質に着目して説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. 暖流である対馬海流の上を冷たい季節風が吹き抜ける際、海面から大量の水蒸気が供給されて雪雲が発達するため                      2. 対馬海流によって運ばれた暖かい空気が、上空の冷たい季節風と混ざり合うことで日本海の中央部に巨大な低気圧ができるため                      3. 黒潮の分流である対馬海流が、冬の間だけ日本海から太平洋側へと流れを変え、湿った空気を内陸へと押し出すため                      4. 寒流であるリマン海流が日本海の海水温を極端に下げるため、空気中のわずかな水分がすべて結晶化して降るため
- 問13 河川が山間部から平地や盆地に出る際、勾配が急に緩やかになることで、流れてきた土砂が堆積して形成される扇形の地形を何といいますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 三角州                      2. 台地                      3. 扇状地                      4. 河岸段丘